

## 第三者評価結果（児童養護施設）

### 共通評価基準（45項目）

#### 評価対象Ⅰ 養育・支援の基本方針と組織

##### I-1 理念・基本方針

		第三者評価結果
I-1-(1) 理念、基本方針が確立・周知されている。		
①	I-1-(1)-① 理念、基本方針が明文化され周知が図られている。	㊟・b・c
<コメント>事業理念や運営方針がパンフレットや毎年の事業計画に記載され、職員には毎月の会議で確認され、意思統一が図られている。子どもについては分かり易く口頭で説明している。		

##### I-2 経営状況の把握

		第三者評価結果
I-2-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。		
②	I-2-(1)-① 施設経営をとりまく環境と経営状況が的確に把握・分析されている。	a・㊟・c
<コメント>社会福祉事業全体の動向は把握はもとより、事業所の子どもの入所理由や地域における役割・特徴などを把握の上、分析し、経営環境の変化に対応している。		
③	I-2-(1)-② 経営課題を明確にし、具体的な取組を進めている。	㊟・b・c
<コメント>地域における特徴や事業所運営を明確にして、具体的に保育士の人材確保や事業所の小規模化に向けた体制づくりに取り組んでいる。		

##### I-3 事業計画の策定

		第三者評価結果
I-3-(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。		
④	I-3-(1)-① 中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。	㊟・b・c
<コメント>事業所は、養育支援の実現に向けた将来像やビジョンは中長期計画の中で明確にされ、計画に沿った具体的な取組が行われている。		
⑤	I-3-(1)-② 中・長期計画を踏まえた単年度の計画が策定されている。	㊟・b・c
<コメント>単年度の事業計画は、中長期計画の数値目標や具体的な事業成果等の達成を評価しながら事業計画が策定されている。		
I-3-(2) 事業計画が適切に策定されている。		

6	I-3-(2)-① 事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われ、職員が理解している。	a・⑤・c
<p>&lt;コメント&gt;事業計画は事業所内での諸会議や職員との面談等により業務内容を確認しながら、実際の生活に合わせた内容を基に毎年管理者が作成し、職員への共有化を図っている。</p>		
7	I-3-(2)-② 事業計画は、子どもや保護者等に周知され、理解を促している。	a・⑤・c
<p>&lt;コメント&gt;保護者へは保護者会を通して説明しているが、難しいケースもあり、積極的な周知や理解に向けた対応は不十分である。子どもについては年間行事計画等で分かり易く説明・周知している。</p>		

#### I-4 養育・支援の質の向上への組織的・計画的な取組

		第三者評価結果
I-4-(1) 質の向上に向けた取組が組織的・計画的に行われている。		
8	I-4-(1)-① 養育・支援の質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能している。	④・b・c
<p>&lt;コメント&gt;自立支援計画を基に支援の実践・評価(年2回)を実施し、各ユニット毎に月1回のケース検討を実施している。職員の質の向上は研修委員会において組織的に検討している。</p>		
9	I-4-(1)-② 評価結果にもとづき組織として取り組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施している。	a・⑤・c
<p>&lt;コメント&gt;各評価については事業所として取り組むべき課題を明確にし、改善策を検討しているが、計画的な改善は不十分である。</p>		

## 評価対象Ⅱ 施設の運営管理

### Ⅱ-1 施設長の責任とリーダーシップ

		第三者評価結果
Ⅱ-1-(1) 施設長の責任が明確にされている。		
10	Ⅱ-1-(1)-① 施設長は、自らの役割と責任を職員に対して表明し理解を図っている。	④・b・c
<p>&lt;コメント&gt;施設長経験は2年目と浅いが、自らの役割と責任について、文章や職員会議等で表明し、事業所の理念や方針について明確に分かり易く職員と共有し、同じ方向で支援に取り組んでいる。</p>		
11	Ⅱ-1-(1)-② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	④・b・c
<p>&lt;コメント&gt;施設長は様々な法令等に関する諸会議や研修会に積極的に参加し、それらに基づいて毎月の職員会議で資料を基に説明し、職員の共通理解を図るため取り組んでいる。</p>		
Ⅱ-1-(2) 施設長のリーダーシップが発揮されている。		

12	Ⅱ-1-(2)-① 養育・支援の質の向上に意欲をもち、その取組に指導力を発揮している。	㊟・b・c
<p>&lt;コメント&gt;事業所内の研修委員会や月1回のケース検討、個人面接(年2回)を通して、自ら参加し、積極的に養育支援に取り組みリーダーシップを発揮している。</p>		
13	Ⅱ-1-(2)-② 経営の改善や業務の実行性を高める取組に指導力を発揮している。	㊟・b・c
<p>&lt;コメント&gt;経営の改善や業務の実効性を高めるため、人事(人員配置)や労務(働きやすい環境整備)を図るため、職員より意見を聴取して、その改善について積極的に取り組み、指導力を発揮している。</p>		

## Ⅱ-2 福祉人材の確保・育成

		第三者評価結果
Ⅱ-2-(1) 福祉人材の確保・育成計画、人事管理の体制が整備されている。		
14	Ⅱ-2-(1)-① 必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。	a・㊟・c
<p>&lt;コメント&gt;本年度子どもの定員増と完全小舎制に伴い職員配置について運営上最大に確保し、子どもの支援、職員の勤務体制に関する環境整備を図っている。</p>		
15	Ⅱ-2-(1)-② 総合的な人事管理が行われている。	a・㊟・c
<p>&lt;コメント&gt;人事基準については評価等の基準の明確化は不十分であるが、定期的に職員との個別面談の機会等、職員の意向や意見を聴取する機会を設けている。</p>		
Ⅱ-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。		
16	Ⅱ-2-(2)-① 職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取り組んでいる。	㊟・b・c
<p>&lt;コメント&gt;定期的に職員個別面談を実施し、職員の意向や意見等を把握し、職員が働きやすい職場環境を整備することを最大限に挙げ取り組んでいる。</p>		
Ⅱ-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。		
17	Ⅱ-2-(3)-① 職員一人ひとりの育成に向けた取組を行っている。	a・㊟・c
<p>&lt;コメント&gt;職員一人ひとりの目標が設定され、年2回実施される個別面接により評価や目標達成度の確認を行っている。</p>		
18	Ⅱ-2-(3)-② 職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、教育・研修が実施されている。	a・㊟・c
<p>&lt;コメント&gt;内部及び外部研修計画が策定され、研修計画に基づき、研修へ参加し、職員の質の向上に取り組んでいる。</p>		
19	Ⅱ-2-(3)-③ 職員一人ひとりの教育・研修の機会が確保されている。	a・㊟・c
<p>&lt;コメント&gt;研修計画に基づき、職員の勤務等に配慮し、積極的に参加できるように取り組んでいる。</p>		
Ⅱ-2-(4) 実習生等の養育・支援に関わる専門職の研修・育成が適切に行われている。		

20	II-2-(4)-① 実習生等の養育・支援に関わる専門職の教育・育成について体制を整備し、積極的な取組をしている。	㊟・b・c
<p>&lt;コメント&gt;実習受入れマニュアルを基に、受入れ担当者が学校等と連携を密にして受入れを行っている。実習生についてはオリエンテーションを充分に行い積極的に取組んでいる。</p>		

### II-3 運営の透明性の確保

		第三者評価結果
II-3-(1) 運営の透明性を確保するための取組が行われている。		
21	II-3-(1)-① 運営の透明性を確保するための情報公開が行われている。	a・㊟・c
<p>&lt;コメント&gt;法人施設のホームページを活用して、施設の運営状況について適正に情報公開を実施している。</p>		
22	II-3-(1)-② 公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。	㊟・b・c
<p>&lt;コメント&gt;毎月公認会計士による事務・経理等の指導を受け、適正な経営・運営を図っている。</p>		

### II-4 地域との交流、地域貢献

		第三者評価結果
II-4-(1) 地域との関係が適切に確保されている。		
23	II-4-(1)-① 子どもと地域との交流を広げるための取組を行っている。	㊟・b・c
<p>&lt;コメント&gt;地域との繋がりを大切にし、事業所の行事は地域住民の参加を呼びかけ、地域のお祭り等へ積極的に参加し、地域住民との交流を図っている。</p>		
24	II-4-(1)-② ボランティア等の受入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	㊟・b・c
<p>&lt;コメント&gt;ボランティア等は積極的に受入れており、受入れの際にはボランティアの方の意向の把握と共に、事業所側(子ども)の配慮などを共有するための事前準備を重視している。</p>		
II-4-(2) 関係機関との連携が確保されている。		
25	II-4-(2)-① 施設として必要な社会資源を明確にし、関係機関等との連携が適切に行われている。	㊟・b・c
<p>&lt;コメント&gt;学校・障害者支援センター・行政(県、市)・地域の施設など関係機関と必要に応じて協働し、連携を図りながら支援に取り組んでいる。</p>		
II-4-(3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。		
26	II-4-(3)-① 施設が有する機能を地域に還元している。	a・㊟・c
<p>&lt;コメント&gt;施設として、地域交流スペース(体育館)を整備しており、地域住民に開放しているが施設が中心となつての活動への展開は不十分な状況にある。</p>		
27	II-4-(3)-② 地域の福祉ニーズにもとづく公益的な事業・活動が行われている。	a・b・㊟

<コメント>日常、措置児童を支援する事の対応に追われる状況にあり、地域の福祉ニーズに基づいた先駆的な新たな事業や活動の取組みは行っていない。

## 評価対象Ⅲ 適切な養育・支援の実施

### Ⅲ-1 子ども本位の養育・支援

		第三者評価結果
Ⅲ-1-(1) 子どもを尊重する姿勢が明示されている。		
28	Ⅲ-1-(1)-① 子どもを尊重した養育・支援提供について共通の理解をもつための取組を行っている。	㊟・b・c
<コメント>養育支援については、ケアマニュアルやケース検討会議で共通理解を図り、ユニットでの個別支援や子ども会議等、子どもが生活に参加する権利を保障して支援している。		
29	Ⅲ-1-(1)-② 子どものプライバシー保護等の権利擁護に配慮した養育・支援提供が行われている。	a・㊟・c
<コメント>子どもの個人情報の取り扱いやプライバシー保護への配慮など職員間で共有して対応している。		
Ⅲ-1-(2) 養育・支援の提供に関する説明と同意（自己決定）が適切に行われている。		
30	Ⅲ-1-(2)-① 子どもや保護者等に対して養育・支援選択に必要な情報を積極的に提供している。	㊟・b・c
<コメント>子どもや保護者に対して施設の説明を丁寧に行い対応している。児童相談所とは特に連携を密にし、子どもが同意できる体制で対応をしている。		
31	Ⅲ-1-(2)-② 養育・支援の開始・過程において子どもや保護者等にわかりやすく説明している。	㊟・b・c
<コメント>養育支援については、保護者や児童相談所と担当職員がやり取りを確認しながら進めている。医療に関する件は保護者の同意をもらって実施している。		
32	Ⅲ-1-(2)-③ 措置変更や地域・家庭への移行等にあたり養育・支援の継続性に配慮した対応を行っている。	㊟・b・c
<コメント>子どもの養育については、変更や不利益が出ないよう出来る限りの対応をしている。措置変更については指針に基づき引継ぎを必ず実施し、退所した後も協力体制を取っている。		
Ⅲ-1-(3) 子どもの満足の向上に努めている。		
33	Ⅲ-1-(3)-① 子どもの満足の向上を目的とする仕組みを整備し、取組を行っている。	a・㊟・c
<コメント>子ども会議を実施して意見や不満を確認している。小規模のユニット制の中で子どもの意見を聞きながら個別に対応していく事を基本としている。		
Ⅲ-1-(4) 子どもが意見等を述べやすい体制が確保されている。		
34	Ⅲ-1-(4)-① 苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している。	a・㊟・c
<コメント>苦情は申し出しやすい体制を整備している。子どもでもあまり表現出来ない場合も多く、担当職員が日常支援で丁寧に対応することを基本とし、保護者とも確認している。		
35	Ⅲ-1-(4)-② 子どもが相談や意見を述べやすい環境を整備し、子ど	㊟・b・c

	も等に周知している。	
<p>&lt;コメント&gt;子どもの意見、不満の受付はユニットに掲示している。第三者委員や施設長が解決者として設置されている。日常においては心理士や職員等で子どもの状況に応じて対応している。</p>		
36	Ⅲ-1-(4)-③ 子どもからの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対応している。	a・⑤・c
<p>&lt;コメント&gt;全ユニットで子ども6名以下の配置にして、日々の生活の中で相談や意見が言えるよう職員が対応している。また、子ども権利擁護委員会や心理士も対応している。</p>		
Ⅲ-1-(5) 安心・安全な養育・支援の提供のための組織的な取組が行われている。		
37	Ⅲ-1-(5)-① 安心・安全な養育・支援の提供を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている。	④・b・c
<p>&lt;コメント&gt;安全委員会において危機管理等安全管理マニュアルを整備し、事故報告やヒヤリハットの実施においても事例を集め、安全委員会等で対応について協議している。</p>		
38	Ⅲ-1-(5)-② 感染症の予防や発生時における子どもの安全確保のための体制を整備し、取組を行っている。	④・b・c
<p>&lt;コメント&gt;感染症予防についてマニュアルを作成し、施設内で予防や発生時について取り組んでおり、医療機関とも連携し対応している。</p>		
39	Ⅲ-1-(5)-③ 災害時における子どもの安全確保のための取組を組織的に行っている。	④・b・c
<p>&lt;コメント&gt;安全管理マニュアルを作成し、災害時を含み危機管理に対応し、備蓄もしている。消防署や市町村機関とも連携できる取り組みを行っている。</p>		

### Ⅲ-2 養育・支援の質の確保

		第三者評価結果
Ⅲ-2-(1) 提供する養育・支援の標準的な実施方法が確立している。		
40	Ⅲ-2-(1)-① 提供する養育・支援について標準的な実施方法が文書化され養育・支援が提供されている。	a・⑤・c
<p>&lt;コメント&gt;施設においてケアマニュアルを作成し、標準的な支援方法を共有し、定期的に職員で確認しながら児童の自立に向けた養育支援を行っている。</p>		
41	Ⅲ-2-(1)-② 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	④・b・c
<p>&lt;コメント&gt;自立支援計画表については、施設として定期的に見直しや検討をしており、子どもの意見や状況を含めて支援を行っている。</p>		
Ⅲ-2-(2) 適切なアセスメントにより養育・支援実施計画が策定されている。		
42	Ⅲ-2-(2)-① アセスメントにもとづく個別的な養育・支援実施計画を適切に策定している。	④・b・c
<p>&lt;コメント&gt;アセスメントについては児童相談所からの情報を確認しながら施設内での生活状況を確認し、適切な支援計画が出来るよう配慮している。年二回の再評価も定期的実施し、課題の見直しを行っている。</p>		
43	Ⅲ-2-(2)-② 定期的に養育・支援実施計画の評価・見直しを行って	④・b・c

	いる。	
<p>&lt;コメント&gt;自立支援計画票については、担当職員その他、専門職や関係職員が参加するケース会議で最終作成し、見直しも実施している。</p>		
<p>Ⅲ-2-(3) 養育・支援実施の記録が適切に行われている。</p>		
44	Ⅲ-2-(3)-① 子どもに関する養育・支援実施状況の記録が適切に行われ、職員間で共有化している。	㊟・b・c
<p>&lt;コメント&gt;子どもの記録や施設の情報共有についてはパソコン上で常に確認できる環境を整備している。</p>		
45	Ⅲ-2-(3)-② 子どもに関する記録の管理体制が確立している。	a・㊟・c
<p>&lt;コメント&gt;記録や個人情報の取り扱いについて対応方法の規定を共有している。全職員が既定の意味を理解し、遵守出来るよう取り組んでいる。</p>		

## 内容評価基準（41項目）

※「共通評価基準評価対象Ⅲ 適切な養育・支援の実施」の付加項目

### A-1 子ども本位の養育・支援

		第三者評価結果
A-1-(1) 子どもの尊重と最善の利益の考慮		
A①	A-1-(1)-① 社会的養護が子どもの最善の利益を目指して行われることを職員が共通して理解し、日々の養育・支援において実践している。	㊟・b・c
<p>&lt;コメント&gt;子どもの養育支援は、児童養護施設として子どもの事を最優先に生活を営んでおり、子どもの最善の利益を目指して真摯に向き合っている。職員も施設長、ホーム長、主任等に相談できる体制が整備されている。</p>		
A②	A-1-(1)-② 子どもの発達段階に応じて、子ども自身の出生や生い立ち、家族の状況について、子どもに適切に知らせている。	a・㊟・c
<p>&lt;コメント&gt;出生や生い立ちについては、児童相談所、心理士と連携し慎重に対応している。また伝え方や発達段階を検討し、適切な時期を見極めながら対応している。ユニット内でも心理士と連携し、告知後のフォローも実施している。</p>		
A-1-(2) 権利についての説明		
A③	A-1-(2)-① 子どもに対し、権利について正しく理解できるよう、わかりやすく説明している。	a・㊟・c
<p>&lt;コメント&gt;子どもの権利については職員間で丁寧に実施しているが全職員での統一した対応が課題となっている。子どもに対しても権利ノート苦情受付など自身が持つ権利について理解できるよう個々に応じて説明し、他の子にも同様の権利があることを理解してもらっている。</p>		
A-1-(3) 他者の尊重		
A④	A-1-(3)-① 様々な生活体験や多くの人たちとのふれあいを通し	a・㊟・c

	て、他者への心づかいや他者の立場に配慮する心が育まれるよう支援している。	
<p>&lt;コメント&gt;6名以下の定員での集団生活を送っているため、お互い協力しながら生活出来るよう声掛けを実施している。地域ボランティア等の関わりを通して地域の資源や支えてくれる方々についても学ぶ機会が有る。ただし、障害等で他者との関係性が難しいケースもある。</p>		
A-1-(4) 被措置児童等虐待対応		
A⑤	A-1-(4)-① いかなる場合においても体罰や子どもの人格を辱めするような行為を行わないよう徹底している。	㉓・c
<p>&lt;コメント&gt;子ども達への虐待防止については、事業計画、ケアマニュアル、権利擁護委員会、各会議で常に話題として取り上げ、マルトリートメントの状況にならないよう確認し合い、支援している。チェックリストも年2回実施している。</p>		
A⑥	A-1-(4)-② 子どもに対する不適切なかかわりの防止と早期発見に取り組んでいる。	a・㉔・c
<p>&lt;コメント&gt;支援方法や関わり方について確認し合いながら支援している。毎月施設長、主任等による会議も開催され、情報の共有が図られている。性教育等について子ども会議などで学習の機会を設けている。</p>		
A⑦	A-1-(4)-③ 被措置児童等虐待の届出・通告に対する対応を整備し、迅速かつ誠実に対応している。	㉓・b・c
<p>&lt;コメント&gt;虐待を発見時はすぐに報告できる体制が有り、届け出や通告についても対応マニュアルが整備されている。ユニット内でも子どもから意見を言いやすい環境を整えている。</p>		
A-1-(5) 思想や信教の自由の保障		
A⑧	A-1-(5)-① 子どもや保護者等の思想や信教の自由を保障している。	㉓・b・c
<p>&lt;コメント&gt;子どもや保護者に対して、思想、信教を制限することはない。</p>		
A-1-(6) 子どもの意向や主体性への配慮		
A⑨	A-1-(6)-① 子どものそれまでの生活とのつながりを重視し、そこから分離されることに伴う不安を理解し受けとめ、不安の解消を図っている。	㉓・b・c
<p>&lt;コメント&gt;入所時の不安を軽減できるよう施設長、ユニットの担当職員からの説明、ウエルカムメニュー等を実施している。児童相談所、心理士等とも相談できる体制が有ることを伝え不安に陥らないよう配慮している。</p>		
A⑩	A-1-(6)-② 職員と子どもが共生の意識を持ち、子どもの意向を尊重しながら生活全般について共に考え、生活改善に向けて積極的に取り組んでいる。	a・㉔・c
<p>&lt;コメント&gt;毎月ユニット会議を開催し、子どもの支援、課題に対して検討する機会が設けられている。また子ども自身も毎月子ども会議を開催し、施設への改善要望などを伝える仕組みがある。</p>		
A-1-(7) 主体性、自律性を尊重した日常生活		
A⑪	A-1-(7)-① 日々の暮らしや、余暇の過ごし方など健全な生活のあ	㉓・b・c



	り方について、子ども自身が主体的に考え生活できるよう支援している。	
<p>&lt;コメント&gt;個室が整備され、より自分の意思で健全に生活出来る環境が整備されている。行事等への参加も各個人の希望により決定することが出来るなど自由度が高い状況である。</p>		
A⑫	A-1-(7)-② 子どもの発達段階に応じて、金銭の管理や使い方など経済観念が身につくよう支援している。	㊟・b・c
<p>&lt;コメント&gt;小遣いは生活訓練を含め設定されており、金銭感覚を学べるようになってきている。計画的に使えるよう必要に応じて職員が助言を行い経験や社会性を学ぶことが出来るようにしている。</p>		
A-1-(8) 継続性とアフターケア		
A⑬	A-1-(8)-① 家庭復帰にあたって、子どもが家庭で安定した生活を送ることができるよう復帰後の支援を行っている。	a・㊟・c
<p>&lt;コメント&gt;家庭復帰については復帰後の生活や関係機関との連携について支援体制を整えて実施している。また保護者によっては難しいケースもある為、相談窓口や支援体制を口頭で伝えている。</p>		
A⑭	A-1-(8)-② できる限り公平な社会へのスタートが切れるように、措置継続や措置延長を積極的に利用して継続して支援している。	a・㊟・c
<p>&lt;コメント&gt;措置延長できる体制は整備されているが、事例はない。法人内に自立援助ホームを運営しているため措置変更により支援を継続できる体制も整備されている。</p>		
A⑮	A-1-(8)-③ 子どもが安定した社会生活を送ることができるようリービングケアと退所後の支援に積極的に取り組んでいる。	a・㊟・c
<p>&lt;コメント&gt;担当職員、職業指導員からリービングケアや退所後の支援について説明を実施している。その他児童相談所、福祉関係機関、ユースアフター共同組合、民間団体とも連携し確認を出来る体制になっている。</p>		

## A-2 養育・支援の質の確保

A-2-(1) 養育・支援の基本		
A⑯	A-2-(1)-① 子どもを理解し、子どもが表出する感情や言動をしっかり受け止めている。	㊟・b・c
<p>&lt;コメント&gt;少人数によるユニットケアを実施しているのため、職員との関わりが密となり、信頼関係が築き易く、子どもの感情、言動も受けられるよう心がけられている。</p>		
A⑰	A-2-(1)-② 基本的欲求の充足が、子どもと共に日常生活を構築することを通してなされるよう養育・支援している。	㊟・b・c
<p>&lt;コメント&gt;小規模化、地域分散化の中、子ども一人ひとりに密に関わり、主任、ホーム長を中心に裁量を重視して生活を送れている。また夜間も見回り等で安心して過ごせるようにしている。</p>		
A⑱	A-2-(1)-③ 子どもの力を信じて見守るという姿勢を大切に、子どもが自ら判断し行動することを保障している。	㊟・b・c
<p>&lt;コメント&gt;子どもの目標や成長に合わせて必要に応じて支援する事を職員間で共有し、支援に当たっている。また職員も少人数のユニットで対応しているので1人ひとりに十分に関わる事が出来ている。</p>		

A⑱	A-2-(1)-④ 発達段階に応じた学びや遊びの場を保障している。	a・㊦・c
<p>&lt;コメント&gt;少人数の保育で専属の職員が個別支援出来る体制になっている。施設として保育計画等は作成せず。年少から地域の幼稚園に通園することになっている。今後、学習環境を整備する予定となっている。</p>		
A⑳	A-2-(1)-⑤ 秩序ある生活を通して、基本的な生活習慣を確立するとともに、社会常識及び社会規範、様々な生活技術が習得できるよう養育・支援している。	a・㊦・c
<p>&lt;コメント&gt;施設全体として秩序が保てる環境になっている。時折逸脱行為が見られても修正が効く雰囲気が出来ている。また、外部のボランティアや地域の行事に参加するなど外部の方との関わりから社会性を学ぶ機会が有る。</p>		
A-2-(2) 食生活		
A㉑	A-2-(2)-① 食事は、団らんの場でもあり、おいしく楽しみながら食事ができるよう工夫している。	㊤・b・c
<p>&lt;コメント&gt;食事、食育について各ユニットで家庭的な雰囲気を大切に、食事準備、調理の手伝い等を通して楽しみながら実施されている。</p>		
A㉒	A-2-(2)-② 子どもの嗜好や健康状態に配慮した食事を提供している。	㊤・b・c
<p>&lt;コメント&gt;栄養士を中心に献立作成やアレルギーへの配慮、体調、健康状態に合わせて提供している。嗜好調査やユニット独自の調理も取り入れている。</p>		
A㉓	A-2-(2)-③ 子どもの発達段階に応じて食習慣を身につけることができるよう食育を推進している。	㊤・b・c
<p>&lt;コメント&gt;栄養士を中心に食育の環境を整えている。また家庭的な支援を実施している。おやつとは原則自由にとることが出来、月2回ユニット調理を実施し、買い物から調理まで手伝いを行う機会も提供されている。</p>		
A-2-(3) 衣生活		
A㉔	A-2-(3)-① 衣類が十分に確保され、子どもが衣習慣を習得し、衣服を通じて適切に自己表現できるように支援している。	㊤・b・c
<p>&lt;コメント&gt;衣類についてはユニットにより状況に応じて支援している。低学年等は職員と共に衣類を購入し、高校生等は自ら購入を実施出来ている。</p>		
A-2-(4) 住生活		
A㉕	A-2-(4)-① 居室等施設全体がきれいに整美されている。	㊤・b・c
<p>&lt;コメント&gt;居室、共有スペースは職員によって個別支援を行い整理されている。壁紙等は近いうちにリフォームし、整備しなおす予定となっている。</p>		
A㉖	A-2-(4)-② 子ども一人ひとりの居場所が確保され、安全、安心を感じる場所となるようにしている。	㊤・b・c
<p>&lt;コメント&gt;ユニットは全て6名以下で2人部屋が1個所、他は個室になっている。2人部屋は年少児や兄弟など1人を望まない子が利用している。</p>		
A-2-(5) 健康と安全		
A㉗	A-2-(5)-① 発達段階に応じ、身体の健康（清潔、病気、事故等）について自己管理ができるよう支援している。	㊤・b・c

<p>&lt;コメント&gt;ユニット毎に個別に自己管理できるよう関わっている。また、年2回嘱託医による健康診断、毎月の身体計測を実施し、客観的な発育状況も管理している。</p>		
A⑳	A-2-(5)-② 医療機関と連携して一人ひとりの子どもに対する心身の健康を管理するとともに、必要がある場合は適切に対応している。	@・b・c
<p>&lt;コメント&gt;心身の管理に関しては医療機関と連携しながら実施、対応している。障害やアレルギー、疾患により特別な対応が必要な子どもも入所しているため情報を共有しながら連携している。</p>		
<p>A-2-(6) 性に関する教育</p>		
A㉑	A-2-(6)-① 子どもの年齢・発達段階に応じて、他者の性を尊重する心を育てるよう、性についての正しい知識を得る機会を設けている。	@・b・c
<p>&lt;コメント&gt;心理士、性教育委員会を中心に施設として教育の機会を設け支援している。日常生活においてもユニット毎に対応している。</p>		
<p>A-2-(7) 自己領域の確保</p>		
A㉒	A-2-(7)-① でき得る限り他児との共有の物をなくし、個人所有とするようにしている。	@・b・c
<p>&lt;コメント&gt;日常生活で身につけるものや、日用品は共有をせず、個人所有としている。また衣類等も個別性を重視し、本人が気に入ったものを購入できるようにしている。</p>		
A㉓	A-2-(7)-② 成長の記録（アルバム等）が整理され、成長の過程を振り返ることができるようにしている。	@・b・c
<p>&lt;コメント&gt;個人のアルバムを作成し、いつでも振り返ることが出来るようになっている。施設としてもデータによる保管も実施している。必ず1人あたり数十枚は写真が撮影され、保存するようになっている。</p>		
<p>A-2-(8) 行動上の問題及び問題状況への対応</p>		
A㉔	A-2-(8)-① 子どもの暴力・不適応行動などの行動上の問題に対して、適切に対応している。	@・b・c
<p>&lt;コメント&gt;それぞれのユニットにて子どもの権利や問題行動自体に対する支援を実施している。施設全体としても専門職やスーパーバイザーとの連携できる体制を整備し対応している。</p>		
A㉕	A-2-(8)-② 施設内の子ども間の暴力、いじめ、差別などが生じないよう施設全体で取り組んでいる。	@・b・c
<p>&lt;コメント&gt;施設には能力的違い、障害、生育歴等様々な背景を持った子が入所しており、暴力、差別、いじめが生じないよう少人数体制での支援をしている。特別な配慮が必要な場合は、児童相談所、保護者、関係機関と連携して取り組んでいる。</p>		
A㉖	A-2-(8)-③ 虐待を受けた子ども等、保護者等からの強引な引取りの可能性がある場合、子どもの安全が確保されるよう努めている。	@・b・c
<p>&lt;コメント&gt;保護者に対しては、児童相談所や場合によっては警察などの関係機関と連携して対応できるようにしている。その他対応が困難な場合は施設長に報告し対応する仕組みが出来ている。</p>		
<p>A-2-(9) 心理的ケア</p>		
A㉗	A-2-(9)-① 心理的ケアが必要な子どもに対して心理的な支援を行っている。	@・b・c
<p>&lt;コメント&gt;心理士を中心に、ユニット職員、必要に応じて児童相談所とも連携できる体制を整備している。心理士による心理療法を通して子どもへの心理面への支援を実施している。</p>		

A-2-(10) 学習・進学支援、進路支援等		
A③⑥	A-2-(10)-① 学習環境の整備を行い、学力等に応じた学習支援を行っている。	a・⑩・c
<p>&lt;コメント&gt;基礎学力を身につける事を重視し、自習場所の確保、塾へ通いなどを個別に学習環境を整え対応している。障害や経験不足による遅れが見られる児童に対しては学校とも連携しながら個別の支援を実施している。</p>		
A③⑦	A-2-(10)-② 「最善の利益」にかなった進路の自己決定ができるよう支援している。	a・⑩・c
<p>&lt;コメント&gt;進路については十分に子どもと話し合う時間を設け、進路を自己決定できるよう支援している。高校を中退してしまった場合は再受験を促している。高校以上の進学についても利用できる制度や資金面について話し合っている。</p>		

A③⑧		
A③⑧	A-2-(10)-③ 職場実習や職場体験、アルバイト等の機会を通して、社会経験の拡大に取り組んでいる。	⑩・b・c
<p>&lt;コメント&gt;アルバイト、職場実習は就職、進学など自立に向けて経済的な面、社会性を身につける意味でも積極的に実施を促している。受け入れ先の地域の方とも連携し他対応している。</p>		
A-2-(11) 施設と家族との信頼関係づくり		
A③⑨	A-2-(11)-① 施設は家族との信頼関係づくりに取り組み、家族からの相談に応じる体制を確立している。	⑩・b・c
<p>&lt;コメント&gt;家庭復帰に向けて、児童相談所と連携しながら情報共有しながら、施設の担う役割を明確にし、状況に応じて保護者への支援を実施している。</p>		
A-2-(12) 親子関係の再構築支援		
A④⑩	A-2-(12)-① 親子関係の再構築等のために家族への支援に積極的に取り組んでいる。	a・⑩・c
<p>&lt;コメント&gt;親子訓練室を整備し、面会等で利用されている。その他家族関係が難しいケースを含めて児童相談所とも連携しながら対応を実施している。</p>		
A-2-(13) スーパービジョン体制		
A④⑪	A-2-(13)-① スーパービジョンの体制を確立し、施設の組織力の向上に取り組んでいる。	a・⑩・c
<p>&lt;コメント&gt;小規模化、地域分散化においてスーパーバイザー体制の確立が急務となっており、体制は整備している。施設としてはスーパーバイザーの育成が課題となっている。</p>		